

コロナ関連の出願が拡大へ

社会を揺る

がす大きな事象が起きた場合、その変化への対応として係わる知的財産権（以下知財権）の出願も増加する傾向にあると



東京オフィス 長 齋藤 健治氏

三枝国際特許事務所

い。各国において新型コロナウイルス（以下コロナ）の感染拡大により人々の生活が変化する中、知財権において「何」が予測されるのか。三枝国際特許事務所東京オフィス所長の齋藤健治氏に聞いた。

——コロナは知財権分野 する特許出願は世界中で拡大にどのような影響を与える 大なることを見込まれる。とみていますか。 例えば、「コロナへの抵抗 齋藤 今後、コロナに関 力を高める食品である」こ

とを以て証明し、特許権 ことですか。

を取得ることができ 齋藤 その可能性は非常 防止効果の高いマスクやコ ば、「コロナに有効な食 食品では、機能性 コロナウイルスに有効な除菌 品」として表示し販売が可 表示食品分野などを中心 剤など、数多く「対コロ 能だ。 に、「対コロナ」という新 ナ」に関する製品が生ま

コロナは世界的に見ると たな視点を持つ製品の研究 れ、それにかかわる特許出 例えば、すでにインフル

ポイントは「スピード感」

依然として終息のめどが立 が、われわれの想像する以 願が今後は活発化するの っておらず、日本において 上のスピードで進んでいる はないか。

も第2波、第3波が懸念さ ことが考えられる。 —さまざまな機関で開 合、そこに「コロナへの有 効性」をプラスすることは 難しいことではなく、ゼロ いたことあるため、実験か

発が活発化しているという ムなど消費者の「安心」に ではなく、すでに持っている 要となるため、すでにある 集」

つながる関 する素材や技術が「コロナに 素材で試したい、スピード 連商材にお 対し何らかの有効性がない 感をもって結果につなげた いても同様 か」という視点がメーンに い、というのが研究機関や のことが言 なると思う。対コロナへの 企業の本音といえる。

このほか、コロナ感染の 業が、急ピッチで有効性の 可能性がある素材を持つ企 市場にないという点 で「スピード感」が重要な ポイントですね。

齋藤 消費者にとって最 初に市場で出たものと感じ るインパクトは大きいた め、先行者利益によってそ の商品が市場に定着する可 能性は高い。また、特許権 を取得するという観点で は、同じ効果や効能であっ

ても、他社が先に権利化し た場合、製造をストップせ ざるを得ない状況や、製品 の有効性をアピールできな いこともあるため、実験か ら研究することに比べて スピード感もある。新素材 を持たせることは重要なポ イントだ。

——すでに各分野でコロ 活性を失うまでの時間が短 が活発化するといっても、 の開発では研究・開発にか かる時間や投資がかなり必 要となるため、すでにある 集」